

# 長期戦略:テーマ 「SDGs の推進」

提出日 2022年12月24日

担当部署
------

## II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	企画担当理事・学長 (総合企画部)	実施計画の 担当部署	国際連携機構
-----------------------	----------------------	---------------	--------

### 1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
8-(12)-② SDGs の推進(教育分野)	2019 年度	2024 年度	必要⇒【選択型】(学部・ 研究科が任意で取組み を選択)	不要
<b>内容</b> <p>スクールモットーである“Mastery for Service”を体現し、「世界を変えるための17の目標」である「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献できる世界市民を育成する。SDGs 推進においても、「国際性豊かな学術交流の母港 “Global Academic Port” となることを目指し、教育 OS として導入された「ダブルチャレンジ制度」を活用して、国際機関や協定大学、地域社会と協働を積極的に行いながら、「持続可能な開発目標(SDGs)」について、学生が自学部の専門的学問領域についての学びに加えて、複合領域的な学びの機会が得られるよう教育プログラムを拡充・整備する。</p> <p><b>【具体的な取り組み】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>SDGs 推進に係わる教育の推進             <ol style="list-style-type: none"> <li>SDGs 関連科目の整備: 全学開講科目「SDGs スタディーズ入門」(仮称)の設置</li> <li>学生向け教育冊子の作成: SDGs 関連科目の履修や SDGs 推進プログラムの参加等を導く手引きを作成</li> </ol> </li> <li>学生向けの啓発セミナーおよび活動促進イベントの実施: SDGs 関連教育プログラムへの参加啓発セミナーや SDGs 推進に向けた活動を支援するイベント等の実施</li> <li>国連ボランティア計画(UNV)との協定に基づいた学生派遣プログラム等の国連関連教育プログラムおよび国際ボランティアの実施・維持</li> <li>国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)と連携した難民学生対象の入試の実施および制度の維持</li> <li>「国際機関へのゲートウェイ」構築に取り組む等、国連と連携した教育プログラムの実施</li> </ol>				

進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式
指標1	「SDGs スタディーズ入門」(仮称)の履修者数	当該年度における全学科目として提供される「SDGsスタディーズ入門」(仮称)の履修者数 CIEC
指標2	学生向けセミナーやイベントの参加者数	当該年度における SDGs 関連教育プログラムへの参加啓発セミナーや SDGs 推進に向けた活動に対するイベントとして実施したセミナーやイベントの参加者数 CIEC/国連・外交/ハンズオン
指標3	国連関係プログラム参加者数	当該年度における国連ユースボランティア、国連セミナー、国際社会貢献活動、国連・外交コースインターンシップ等参加学生数(実施計画 1-(6)-①目標9参照) CIEC/国連・外交
指標4	UNHCR 難民高等教育プログラムの入学者数	当該年度における UNHCR 難民高等教育プログラムで本学に入学した学生数 CIEC
指標5	国連・国際機関の協力機関数	国際ボランティアプログラムおよび国連外交コースインターンシップに協力する国際機関、国連NPO/NGO法人、海外教育機関等の数(実施計画帳票1-(7)-③ 目標1参照) CIEC/国連・外交

## 目標1&lt;指標1&gt; 「SDGs スタディーズ入門」(仮称)の履修者数

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	科目設置の検討	科目担当者・シラバスの確定	科目開講 履修者 100名	履修者 150名		
実績	科目設置の検討	科目担当者・シラバスの確定	695	200		

## 目標2&lt;指標2&gt; 学生向けセミナーやイベントの参加者数

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	セミナー・イベント案の提案	200	300	300		
実績	セミナー・イベントの提案 458(既実施分)	0	86			

## 目標3&lt;指標3&gt; 国連関係および国際ボランティアプログラムへの参加学生数

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	(実施計画1-(6)-① 目標9参照)	(実施計画1-(6)-① 目標9参照)	(実施計画1-(6)-① 目標9参照)	(実施計画1-(6)-① 目標9参照)		
実績	(実施計画1-(6)-① 目標9参照)	(実施計画1-(6)-① 目標9参照)	(実施計画1-(6)-① 目標9参照)			

## 目標4&lt;指標4&gt; UNHCR 難民高等教育プログラムの入学者数

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	日本語話者 2名 英語話者 1名	日本語話者 2名 英語話者 1名	日本語話者 2名 英語話者 1名	日本語話者 2名 英語話者 1名		
実績	日本語話者 2名	日本語話者 2名	英語話者 1名			

## 目標5&lt;指標5&gt; 国連・国際機関の協力機関数

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	(実施計画帳票1-(7)-③ 目標1参照)	(実施計画帳票1-(7)-③ 目標1参照)	(実施計画帳票1-(7)-③ 目標1参照)	(実施計画帳票1-(7)-③ 目標1参照)		
実績	(実施計画帳票1-(7)-③ 目標1参照)	(実施計画帳票1-(7)-③ 目標1参照)	(実施計画帳票1-(7)-③ 目標1参照)			

## 2. ロードマップ

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
1. SDGs 推進に係わる教育の推進 ①SDGs関連科目の整備: 「SDGs スタディーズ入門」 (仮称)の設置 ②学生向け冊子の作成	策定段階	①科目設置の検討 ②学生向け冊子の制作	①科目概要・シラバス確定 ②学生向け冊子配布	①科目開講 ②学生向け冊子配布	①科目開講 ②学生向け冊子配布	①科目開講 ③ 学生向け冊子配布
	2023年3月末段階	①科目設置の検討	①科目設置の検討	①科目設置の検討	—	—
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階	①科目開講 ②学生向け冊子配布	①科目開講 ②学生向け冊子配布	①科目開講 ②学生向け冊子配布	①科目開講 ④ 学生向け冊子配布	
	2023年3月末段階	—				
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
2. 学生向けの啓発セミナーおよび活動促進イベントの実施	策定段階	企画	実施 新規企画	実施	実施	実施
	2023年3月末段階	企画 実施	企画	実施	—	—
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	—
	策定段階	実施セミナー・イベントの検証	実施	実施	実施	
	2023年3月末段階	—				

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
3. 国連ボランティア計画 (UNV)との協定に基づいた 学生派遣プログラム等の 国連関連教育プログラ ムおよび国際ボランティア の実施・維持	策定段階	UNV との枠組みの交渉	UNV との枠組みの交渉	新規協定締結完了	新規枠組みでの派遣	新規枠組みでの派遣
	2023年3月 末段階	UNV との枠組みの交渉	UNV との枠組みの交渉	UNV との枠組みの交渉	—	—
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	-
	策定段階					
	2023年3月 末段階					
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
4. 国連難民高等弁務官 事務所 (UNHCR) と連携し た難民学生対象の入試の 実施および制度の維持	策定段階	UNHCR との交渉 制度の検証	UNHCR との交渉 制度の検証	入試の実施 制度の維持	入試の実施 制度の維持	入試の実施 制度の維持
	2023年3月 末段階	UNHCR との交渉 制度の検証	UNHCR との交渉 制度の検証	入試の実施 制度の維持	—	—
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	-
	策定段階	入試の実施 制度の維持	入試の実施 制度の維持	入試の実施 制度の維持	入試の実施 制度の維持	
	2023年3月 末段階	—				
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
5. 「国際機関へのゲート ウェイ」構築に取り組む 等、国連と連携した教育プ ログラムの実施	策定段階	外務省・UNV との交渉	UNV との協定書更新	プログラムの成果検証	新規プログラム運用開始	プログラム提供
	2023年3月 末段階	外務省・UNV との交渉	UNV との協定書更新	—	—	—
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	-
	策定段階	プログラム提供	プログラム提供	プログラム提供	プログラム提供	
	2023年3月 末段階	—				

## 3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】

非公開

経費 単位:万円

2019年度承認

2020年度承認

2021年度承認

2022年度承認

2023年度承認

2024年度

左記以降

非公開

人員・人件費 単位:万円

2019年度承認

2020年度承認

2021年度承認

2022年度承認

2023年度承認

2024年度

左記以降

非公開

## 4. 進捗状況・得られた成果

2019年度	「SDGs スタディーズ入門」の設置について提案した。SDGs をテーマに実施している学生向けの啓発セミナー・イベントの参加者数については、既に実施しているプログラムの参加者数が400名を超えた。国連関係教育プログラムおよび国際ボランティアの実施、難民学生対象の入試、国連・国際機関の協力機関数の各目標については、一部数値目標を下回っている部分があるが、概ね計画どおり進捗している。
2020年度	授業科目は「SDGs スタディーズ入門」（全学開講科目）が設置されて開講されることになった。また、総合政策学部で「SDGs 実践入門」が開講されることになった。学生向けの啓発セミナー・イベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、2020年度内の企画・実施は見送った。国連関係教育プログラムおよび国際ボランティアの実施、難民学生対象の入試、国連・国際機関の協力機関数の各目標については、一部数値目標を下回っている部分があるが、概ね計画どおり進捗している。
2021年度	授業科目「SDGs スタディーズ入門」を開講し、履修者数が695名となった。この他にSDGs 関連授業科目は複数の学部で開講することが検討されている。学生向けの啓発セミナー・イベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、2021年度内も企画・実施が見送られている。国連関係教育プログラムおよび国際ボランティアの実施、難民学生対象の入試、国連・国際機関の協力機関数の各目標についても新型コロナウイルス感染症の影響により一部数値目標を下回っている。
2022年度	
2023年度	
2024年度	

## 5. 今後の課題及び方向性

2019年度	2019年度より新たに設定した実施計画であり、今後の課題および方向性は今年度の取り組みを踏まえて整理する。
2020年度	指標1「SDGs スタディーズ入門」の新科目設置に関し、NUCの教員を軸に指導教員を調整（依頼）する。KSCでは「SDGs 実践入門」の新規科目設置が計画されており、関係者と情報共有している。それ以外の内容（指標2～5）については、計画どおり進めていく。
2021年度	「SDGs スタディーズ入門」の履修者数が695名（履修確定時）となって予想を大幅に上回る履修者数となっているが、授業担当者の負担軽減を考えてクラス増加等の検討の必要がある。また、各学部の専門科目につながるSDGs 関連科目や国際教育・協力センター提供の海外派遣プログラムにつながるSDGs 関連科目、プログラムを整理して広報することを検討する。学生向けの啓発セミナーおよび活動促進イベントについては、関連部署と連携しながら既存のプログラムへの誘導につながるイベントを検討する。
2022年度	全学科目として提供される「SDGs スタディーズ入門」と各学部の専門科目につながるSDGs 関連科目、プログラムを整理して広報する。「SDGs スタディーズ入門」は現在春学期のみの開講となっているが、秋学期にも同科目か基礎レベルの科目を開講することを検討する。これによって国際社会が直面している課題について多くの学生が基礎的な知識を習得した上でそれぞれの専門科目の学びに進むことを目指す。学生向けの啓発セミナーおよび活動促進イベントについては、関連部署と連携しながら既存のプログラムへの誘導につながるイベントを引き続き検討する。
2023年度	
2024年度	

## 6. 学院総合企画会議の基本方針

2019 年度	SDGs 推進に係る啓発セミナーの実施を認めます。ただし、概算費用については保留とし、詳細が定まった段階で、将来構想推進 WG の承認を得た上で、予算外申請してください。加えて、学生向け冊子については、「ダブルチャレンジ紹介」冊子に予算も含めて追加することで対応してください。ただし、SDGs 教育推進担当の契約職員については配置しません。
2020 年度	SDGs 推進に係る啓発セミナーの実施を認めます。ただし、概算費用については保留とし、詳細が定まった段階で、将来構想推進 WG の了承を得て、予算外申請してください。 学生向け冊子については、「国際教育・協カプログラム募集要項」や「ダブルチャレンジ紹介」冊子等に追加することで対応してください。 SDGsスタディーズ入門開講に伴うゲストスピーカー料は、一般事業ガイド予算で対応してください。 また、SDGs 教育推進担当の契約職員については配置しません。
2021 年度	SDGs 推進に係る学生向け冊子の発刊、啓発セミナーの実施を認めます。ただし、概算費用については保留とし、詳細が定まった段階で、将来構想推進 WG の了承を得て、予算外申請してください。 SDGsスタディーズ入門開講に伴うゲストスピーカー料は、一般事業ガイド予算で対応してください。
2022 年度	SDGs 推進に係る教育施策として、学生向け冊子製作およびアクションプランコンテストの実施費用を認めます。 なお、ゲストスピーカー料は事務運営予算から支出してください。
2023 年度	
2024 年度	

## 7. Total Review の結果

## 【フェーズ I (2019~2021)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021 年度、NUC の全学科目「SDGs スタディーズ入門」、KSC の総合教育科目「SDGs 実践入門」を開講する。</li> <li>・啓発セミナーやイベントは、コロナ禍によって開催できていない。</li> </ul>	継続 ・ 廃止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs 推進に向けたさらなる具体策の検討</li> </ul>

## 【フェーズ II (2022~2024)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止:その理由と今後の方向性)
	継続 ・ 廃止	



